東洋療法いわて

第47号

平成27年3月31日発行
（一般社団法人）岩手県鍼灸マッサージ師会

≪写真コーナー≫

第 1 回生涯研修会(6 月 15 日)

東鍼連山形大会学術発表(7 月 6 日)
朝橋正美氏

第 2 回執行部会議(8 月 24 日)

三団体健康セミナー(9 月 14 日)
船水隆広先生

中間監査会・第 2 回理事会（10 月 5 日）

第 3 回生涯研修会（10 月 26 日）
阿部和恵先生（中央）

第 3 回生涯研修会（10 月 26 日）

貯筋運動教室 6 日目（10 月 29 日）
仕上げのマッサージ

巻頭言

一般社団法人
岩手県鍼灸マッサージ師会
会長　佐々木　実

平成２６年度は、当会が一般社団法人に移行して２年目の年でした。４年間での達成を課せられた公益目的支出２年目も、会員の皆さんの協力で滞ることなく遂行出来そうです。

今年度の当会を振り返ってみますと、

・入会者が再入会も含め９名と、近年では最も多い数となり、会員数１０７名。合言葉「目指せ１３０名」
・釜石小川地区での鍼灸マッサージボランティアが好評につき、毎日曜実施となる。
・公益目的支出１年目の報告無事終わる。
・公益目的支出達成後の財務状況について検討始める。
・アジアマスターズ陸上北上大会で、マスターズ史上初の鍼灸マッサージボランティア実施。
・介護予防事業推進委員会で、盛岡市内での健康体操や貯筋教室の実施回数増える。
・選挙管理規則制定や運営規定改正案決まる。（各地域師会の位置付けや名称変更、活動報告の理事会への義務付けなど）

さて、社会に目を向けると、広島での大雨による土砂崩れ、徳島での大雪被害と相変わらず自然災害が後を絶ちません。年明け後に多発しているイスラム国と称する過激派グループによるテロでは、日本人２名も犠牲となってしまいました。４月の消費税増税、末端まで広がらない経済効果など、私たちの暮らしはなかなか良くなりません。

そんな中行なわれた衆院選では安倍首相率いる与党が圧勝し、引き続きアベノミクスが進められることとなりました。安倍首相は、１１世紀、東北の支配を目指す朝廷軍に抵抗し続けた安倍一族の末裔とか。厨川の柵で敗れた安倍貞任の弟宗任の子孫だそうです。中央からの圧制に反発し、常に住民のことを考え続けた安倍氏の血を思い出し、隅々まで行きわたる政を行って欲しいと願います。

社会の動きや国による政策により、私たちの業界は大きな影響を受けます。これからの動きをしっかりと捕まえ、業権擁護、鍼灸マッサージの社会貢献と啓発等々、力を注いで参りましょう。

一層の皆様のご協力をお願いし、巻頭言といたします。

写真コーナー
巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・会長　佐々木　実

目次

平成 26 年度活動報告
総務部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務部長　古舘　吉弘
平成 26 年度定時総会報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務部長　古舘　吉弘
会長会務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・会長　佐々木　実
学術部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・学術部長　佐藤　　明
事業部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・事業部長　館下　正則
保険部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・保険部長　袖林広正法
組織強化部報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・組織強化部部長　佐藤　　茂
東洋療法推進大会 in 岡山報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・一関師会　伊藤　庸一
アジアマスターズマラソン報告・・・・・・・・・・・・・スポーツセラピー担当　朝橋　正美
介護予防事業推進委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・同委員会委員長　古水　健吾
東鍼連臨床発表膝痛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・遠野師会会長　朝橋　正美
各師会活動報告
二戸師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・古舘　吉弘
盛岡師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務　中渡　智彦
奥州師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・小野田サヨ子
宮古師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・上館　　宏
遠野師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・朝橋　正美
一関師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・館下　正則
大船渡師会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・古水　健吾
岩手県師会文庫一覧
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・広報部長　松下　優子
奥付
広告-カナケン

平成２６年度活動報告

総務部報告

総務部長　古舘　吉弘

４月　１日　盛岡医療福祉専門学校入学式に会長出席（ホテル東日本）
４月　４日　法人県民税納入
５月１１日　第１回理事会並びに第７３回定時総会開催（エスポワール岩手）
５月１９日　法人市民税納入
５月２５、２６日　全鍼代議員総会、協同組合総代会、政治連盟総会、東鍼連平成２５年度第３回理事会に会長出席（東京）
５月３０日　岩手県保健福祉部と「生活保護法による医療扶助運営要領の一改改正等に伴う施術変更協定書」を交わす
５月３０日　盛岡法務局に理事の変更登記届を提出し受理される
６月１８日　盛岡市と「生活保護法による医療扶助運営要領の一部改正に伴う施術（あん摩・マッサージ、はり、きゅう）に関する変更協定書」を取り交わす
７月６日、７日　東鍼連山形大会「付き添い含めて１９名」参加（天童温泉微笑みの宿滝の湯）
７月１３日　岩手県視覚障害者友好協議会の総会に祝いのメッセージを送る
７月２７日　岩手県視覚障害者福祉協会の第１２回福祉大会に祝電を送る
７月２９日　公益目的支出計画実施報告書を提出し受理される
８月２４日　第２回執行部会議開催（アイーナ）
８月３１日　第６０回全国盲青年研修記念大会に祝電を送る
１０月　１日　岩手県と「生活保護法による医療扶助及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による医療支援給付の施術に関する変更協定」を交わす
１０月　５日　第２回監査会並びに第２回理事会開催（岩手マッサージセンター）
１１月　９日　全国師会長会議に会長出席（東京）
１１月１６日　東鍼連師会長会議に会長出席（仙台）
平成２７年
１月１１日　第３回執行部会議開催（大船渡）
２月　１日　岩手県視覚障がい者連絡協議会開催（岩手マッサージセンター）
３月１５日　第３回理事会開催（岩手マッサージセンター）
３月１６日　盛岡医療福祉専門学校鍼灸科卒業式に会長出席（ホテル東日本）
その他、メール版県師会情報の発行を行っている。

平成２６年度定時総会報告

総務部長　古舘　吉弘

平成２６年度第７３回定時総会が５月１１日（日）に盛岡市のエスポワールいわてで開催されました。

今年は役員改選が行われる年であり、理事会、総会、そしてまた臨時の理事会その後の懇親会と、予定がびっしりでした。

ここでは総会の報告をします。

まず資格確認ですが、５月１０日時点での会員数１０３名、出席３０名、委任状３８名、合計６８名、欠席３５名となり、過半数を超えているので総会は成立する旨を報告しました。佐藤明副会長の開会の言葉に続き、会長挨拶、顧問挨拶、祝電披露、議長選出、議事録記録人、議事録署名人の委嘱を行いました。議長には大船渡師会の古水健吾氏を選出し、議事録記録人には盛岡師会の井口力氏、議事録署名人には盛岡師会佐々木金男氏、同じく盛岡師会の松下優子氏を委嘱し議事に入りました。

会長挨拶

お忙しいところ出席いただきましてありがとうございます。本日は、一般社団法人になり初めて役員改選がおこなわれます。また、臨時の理事会、懇親会と予定がぎっしりです。ご協力お願いします。

さて、昨年４月より一般社団法人に移行することができましたが、名称変更、事務所移転手続き、登記等の事務処理に多分な時間を要しましたが、無事総てを済ませることが出来ました。

平成２５年度は、岩手県鍼灸マッサージ師会という名を県民の皆さんに多く周知させることの出来た年でもありました。

介護予防推進委員会では、介護予防教室を西厨川老人福祉センター等で開き修了者に修了証書を県師会名で出し、大変喜ばれました。また、岩手県海外研修生として井口理事の治療院で研修を受けていたアルゼンチン人佐々木みかさんにも研修修了証書を出し、本人は勿論、県の担当者からも感謝の言葉をいただきました。

復興支援の一つということで釜石小川地区高齢者サポートセンターで仮設住宅住居者へ行っていた、あはきボランティアも好評で、利用者のたっての願いにより、今年度からは隔週日曜から毎週日曜実施と倍増いたしました。

私は、会に入っている人と入ってない人の差別化をはっきりして行きたいと考えております。そして会員にメリットある会つくりを目指しています。復興資金を活用しての小川地区でのボランティア、研修会開催、県師会情報を通してのきめ細かい情報配信、県師会文庫の創設等々これからもメリットある会つくりを進めて参ります。皆さんのご支援とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

議事報告（議事録より抜粋）

第１号議案　会長会務報告（佐々木実会長）

（１）往療マッサージ「あいの手」からマッサージ師雇用の話があったが、会員では希望者はなかった。

（２）１９条問題、マッサージ養成学校が出来ないため、需要と供給のバランスが崩れている。岩手の業界としては、県より意見を求められたら、人数を勘案した上で認める方向で行きたい。

（３）一般社団になったことで、これまでのような市民税免除はなくなった。金額は５万円である。

質問　佐々木金男　市民税は今後も免除となる可能性はないのか？

答え　会長　示された条件を見ると免除は今後も難しいと思われる。

第２号議案　平成２５年度事業報告とその承認

総務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、庶務部、介護予防推進委員会、無免許対策委員会より順次報告があり、全会一致で承認された。

第３号議案　平成２５年度収支決算報告並びに監査報告とその承認

・財務部長より説明があり、その後千葉監事より監査の結果、正しく行われていることが報告された。業務的には、会長が検討のため執行部会議や理事会で意見を募った「保険請求のあり方」について」十分な検討をし、岩手県師会としての結論を出して欲しい。

第３号議案は、全会一致で承認された。

第４号議案　慶弔規則一部変更とその承認

会長より、会員がなくなった場合の弔慰金を３千円から５千円にしたい。これはすでに理事会では承認を受けている、との提案があり決を取った結果、全会一致で改正案が承認された。

第５号議案　名誉会員の推薦について

定款第５条（３）により、柴内魁三氏、菅野長治氏、石川文治氏の３名をその功績により名誉会員とした（平成２５年度第３回理事会で決定）と会長より報告があった。柴内氏は会創設に尽力、菅野氏は会発展と安定に尽力、石川氏は当会を社団法人にした功績によるものである。

第６号議案　震災対策委員会廃止について

平成２３年の東日本大震災以来設置し、被災地ボランティアや被災会員への見舞い金や物資の配布に努めて来たが、その役目もほぼ終了したようなので廃止としたい。なお、現在行っているニチイ学館との共催事業（釜石小川地区鍼灸マッサージボランティア）については、事業部担当とし、今後震災関係のことは事業部と会長・副会長とで対処して行くとの会長の説明があった。

第７号議案　保険請求のあり方について

全国的に団体請求をしている師会が増えてきているが岩手県師会ではどうするか？（東北では青森県と岩手県だけが個人請求）執行部、理事会に引き続き皆さんの意見を聞きたい。団体請求にした場合は、保険者の信用が増すという利点がある反面、内部審査の人員確保、団体の立ち上げと維持資金の工面、個人情報流出の危険性、事業税等の処理方法等々クリアしなければならないことも沢山出て来る、との会長の話があった。これを受け古水議長が会場に諮った。

高橋久喜　自分はずっと個人請求でやって来て問題なくやって来ているので、団体請求にする必要はない。

第８号議案　アジアマスターズ陸上マッサージボランティア参加について

担当朝橋氏より、現在日にちしか決まっていないが、活動費用や交通費などは小額ながら出ることになっているとの説明があった。

第９号議案 平成２６年度事業計画報告

総務部、事業部、学術部、保険部、組織強化部、広報部、介護予防委員会の各長より報告があった。

第１０号議案　平成２６年度予算報告

財務部長より説明があった。

第１１号議案　その他

総務部より、7月の東鍼連山形大会の参加希望者を５月末日までに総務部長に届けて欲しい。

第１２号議案　役員改選について

選挙管理人の小澤信男氏より理事の任期が満了となり、今から理事の選任を行う。４月２０日までに立候補予び推薦を求めたところ、１３人が理事立候補者となった。今からその１３人の信任投票を行うとの説明後、投票が行われた。

結果全員が信任され、選ばれた１３人は、全員が理事就任を承諾した。

その後、伊藤庸一氏、佐々木金男氏の理事退任の挨拶があり、一切の議事を終了した。

最後に、信任された理事の氏名と、役職などを記して総会の報告とさせていただきます。

理事

佐々木実、佐藤明、古舘吉弘、山本英典、井口力・袖林広正法、松下優子、佐藤茂、舘下正則、朝橋正美、千田節雄、古水健吾、上舘宏

これを受け臨時理事会が開かれ、会長には佐々木実氏が再任されました。

その後、会長より以下の役職が発表されました。

副会長、佐藤明（筆頭)、副会長、古舘吉弘

業務執行理事

学術部長兼 IT 担当 佐藤明

総務部長 古舘吉弘

財務部長　山本英典

庶務部長　井口力

保険部長　袖林広正法

広報部長　松下優子

組織強化部長兼財務部長補佐　佐藤茂

事業部長　舘下正則

特別委員会

介護予防事業推進委員会　委員長　古水　健吾

無免許対策委員会　委員長　千田節雄

スポーツセラピー担当　朝橋正美

顧問　神﨑浩之県議、下佐征昭

相談役　伊藤庸一

なお、監事は任期が４年ですので、改選は次回となります。よって、

監事　千葉謙一、中渡智彦

以上となります。どうぞ宜しくお願い致します。

会長会務報告

会長　佐々木　実

①全鍼代議員総会等報告

５月２５日、２６日の両日、東京のホテルルポール麹町において全鍼代議員総会、東鍼連第３回理事会、政治連盟総会、協同組合総代会が行われ出席して参りました。

まず代議員総会ですが、２５日の午後１時から５時まで行われ、平成２５年度の事業や決算

報告、２６年度の事業計画と予算案は執行部提出通り承認されました。
　また、会員の減少から財務状況が逼迫して来たので、来年度からは各県師会に会費納入早期手数料として支払っていた納入金額の１パーセント還元は廃止と決まりました。
あはき師の免許証明カード発行についてはいよいよ具体化し、持ち歩きの出来る写真入りのものを東洋療法財団から希望者に数千円の自己負担で発行するとのことで、実現は来年度を予定しているとのことでした。
　保険局からは、消費税が導入された時とそのパーセンテージが５パーセントに上がった時の２度とも療養費額アップが医科と柔整にだけ手当されあはきは無視されたが、今回の８パーセントアップに際してはあはきへも手当してもらうことを勝ち取った。ついては来年予定されている１０パーセントアップに際しても皆さんの協力を得ながら再び手当が実現するように頑張って行きたい。また、各県師会で同意書を拒否された時、その理由を医師から聞くことが出来たら是非それを全鍼に届けて欲しい。「同意書ガイドブック」を作りたいと考えているとのことでした。
　地域健康つくり指導者講習会とスポーツ鍼灸マッサージ研修会については、養成の段階からそろそろ成果の集約を示すと共に実現化に力を注いで欲しいとの要望が出されました。
　無免許問題については、厚労省と粘り強く検討・交渉している。法改正も含め、議員連盟の力を借りて進めて行きたいとのことでした。
　最後に、各県からの提出議題が出され、福島県では原発事故の影響で会員が県外に移ったり、業をやって行けなくなって退会する人が増えている。救済措置の一つとして「休会制度」あるいは「再入会時の入会金免除制度」を検討して欲しいとの要望が出されました。これについては「救済措置は考えて行く」とは答弁したものの、定款とのからみもあって前向きな返事はありませんでした。
②平成２５年度第３回東鍼連理事会
　２５日の夜、８時半から９時５０分まで同ホテル東鍼連事務局長宿泊室にて行われました。秋田を除く５県が参加し、主に東鍼連山形大会の進捗状況が話されました。一般講演者の査読も終わり、準備は順調とのことです。
　次に、福島県師会長が梅宮先生から平栗先生に代ったことにより、新しくブロック長を選ぶこととなり、山形県師会の白田会長が就任することとなりました。副会長には、宮城県師会長と岩手県師会長が、監事には秋田県師会長と福島県師会長が、事務局長には青森県師会長がそれぞれ就任しました。
③政治連盟総会
　２６日の午前９時から１時間同ホテルで行われました。ここでは保険委任払い確立が議連の力添えで実現しそうなことが述べられ、これも政治力のたまものであり、そのためには運動資金が不可欠。１６００余りの会員数ではどうにもならない。年１千円の連盟会費を是非納めて会員になって欲しいとの願いが述べられました。岩手県師会としても出来る限り協力したいと考えています。私に一人１千円預けていただければ責任をもって振り込みますので、協力をよろしくお願いいたします。
④協同組合総代会
　協同組合では今年度より補助金事業を行うこととなり、７月５日、６日に参加費１万円で保険や無免許について研修会を開く予定。が、その日は、東鍼連大会に当たっており変更を求め

るもかなわず、東北ブロックとしては当然東鍼連参加を優先するということで一致しました。
協同組合の購買事業は昨年より２パーセント減との報告があり、一層の利用をお願いしたいとのことでした。

全国都道府県師会長会議報告

会長　佐々木　実

平成２６年度の全国師会長会議は、１１月９日（日）、東京の「ルポール麹町」で午前１１時から午後４時まで（３時半から４時までは政治連盟集会）行われました。東京、北海道、福島、千葉、石川は欠席でしたが、役員を含め５８名中５３名の出席でした。

内容を簡単に記します。

総務　今年度の入退会者は、１０月２８日現在で入会４００名、退会４８２名と会員減少が止まっていない。１００名以下の師会が１４師会、１００名代の師会が２５師会である。全鍼総会員数は９，５３６名である。

財務　１０年前から比べると会員が２千名減り、収入も２千万円ほど減っている。が、事業は１０年前よりずっと増えており、やりくりが難しくなっている。

総務　細則に「再入会」という項目を設けた。即ち、退会後３年以内の再入会であれば入会金は取らない。また、自然災害等で退会を余儀なくされた場合に際しては５年以内の再入会は理事会の了承を得た上で入会金を免除する。但し、再入会に伴う会員証の再発行代金１千円だけは別に納めてもらう。

保険局　消費税１０パーセントアップをにらんで国から「個人で営業している治療院で、マッサージ分の青色申告しているデータが欲しい」と言われているので、是非協力してほしい。（県師会情報で既報）

法制局　来年度より携帯用身分証明書を有料で発行する。これには本人の写真も貼りたい。また、施術所の内外に貼れるようなものも発行する予定である。厚労省からは国民向けに、「施術は国家資格免許を有している人から受けるように」というリーフレットを作成してもらう予定。

保険局　療養費委任払いを制度の中にきっちりと入れてもらうことを厚労省と検討中であり、達成に希望を持っている。

各県からの質問と、それに対する答弁

（質問　栃木）　あはきは医業か医業類似行為かについて

（会長答え）　あはき法から見ると医業だが、国会議員等の習慣的認知として医業類似行為となっている。このことにこだわると動きが取れなくなるので、厚労省との協議では臨機応変に対応していきたい。

（質問　山形）　医師の同意書拒否問題はどうにかならないのか？このことに関する医師向けのガイドブックを作ると言っていたがどうなっているのか？

（答え　保険局）　作成が遅れているが、作って配布したいと思っている。

（質問　神奈川）　鍼灸師会と合併した師会があったらお知らせいただきたい。

（応え　各県師会長）　福岡、熊本、佐賀、大分、愛知

（質問　茨城県）　訪問マッサージのチェーン店が増えてきているが、このような所とどのよう

に付き合っていくべきか？

（応え　無免許対策委員会）　これら株式会社経営も地元の業界に入ってもらい一緒に活動していくようにお願いしたい。

（提言　長野）　看護師教会を皮切りに自衛隊松本駐屯地や教職員組合と提携し、師会会員の施術所にかかる時は一割引きという協定を結ぶことが出来患者も増えている。患者掘り起しの観点からも推奨したい。

（愛知）　次年度の東洋療法推進大会は１０月２５日、２６日の両日名古屋市で行う予定なので、多くの参加をお願いする。

政治連盟集会報告

・会員が少しずつ増えてはいるが、まだ二割にも達していない。金がなければ活動は出来ない。一層の協力をお願いしたい。ちなみに全鍼の年間資金は２００万余、鍼灸師会は６００万余である。人数が全鍼よりはるかに少ない鍼灸師会が資金協力が多い。現在議連の数は、自民党議員１４４名である。「医療と福祉は超党派で」という意見もあるが、医師会との関係、以前からの付き合い、政権政党等々勘案し、これまで通り自民党議員で議連を構成していきたい。

・資金集めの一つとして、全鍼１１０番の還付金を各県師会から寄付してもらうということもえている。

会議は帰りの交通のことも考え、４時ぴったりに終了となりました。療養費一部負担の制度化交渉や、無免許問題の身分証明カード作成にみられるように、事態は少しずつ好転しております。私たち会員もその後押しをしていかなければなりません。とりわけ身分証明カードは、その時が来ましたら情報を流しますので、全員が取得携帯することをお願いします。

東京は岩手とは気温が１０度くらいも違い、こっちから行った者にはぽかぽか陽気でした。でも、街行く人たちは、マフラーを巻いて歩いています。慣れとは恐ろしいものです。

会議終了後から翌日にかけて、スカイツリーや浅草、お台場、原宿などをぶらついてみましたが、最近の円安の影響でしょうか、昨年などより街には外国人旅行者が目立ちました。東京はやはり日本の窓です。

以上で報告を終わります。

東鍼連師会長会議報告

会長　佐々木　実

平成２６年度の東鍼連師会長会議（第２回理事会）は、１１月１６日、仙台の荒町市民センターで午前１１時から午後３時まで行われました。平栗福島県師会長が１１月初めに交通事故に見舞われ重傷を負って欠席された他は、各県師会長と次期開催県の事務・財務の両局長が出席しました。

東鍼連山形大会の総括

・会場が立派で、大会の進行もスムーズであった。（宮城、岩手、秋田、青森）

・集まって査読をするということが困難で、スカイプを使って行った。公開講座を聴きに来た一般の人たちが少なかった。（山形）

・懇親会で抽選がないのが寂しかった。テーブルの上に置かれた水の入ったコップは、倒す人が多く、必要なかった。（岩手）
・パワーポイントを用いた発表が多くなり、視覚障害者の人たちへの配慮が必要だ。（青森）

代議員会での懸案事項について

・東鍼連大会での臨床発表の抄録については、その形式はこれまで通りとするものの、秋田大会からは発表者が記しやすいような柔軟さも設ける。
・パワーポイントを使う発表者や講演者には、前もって視覚障害者への配慮を記した案内文書を送ることとする。（全鍼で使っているものを簡略化したものを作る）
・東鍼連の役員は、会長に白田（山形）、副会長に山田（宮城）と私が、監事に小松田（秋田）と平栗（福島）、事務局長に笹川（青森）の体制で行くこととなった。

東鍼連秋田大会の進捗状況

・平成２７年７月４日（土）～５日（日）開催
・場所は、田沢湖町芸術村わらび座ゆぽっぽ
・参加費１万７千円（美容鍼灸協会からの義援金残金活用で、１千円程度の割引あり）

その他

・来年度の全鍼理事に、東鍼連として白田会長を押すことを決定。

その他、各県、あるいは全鍼の活動についての情報交換を多く行い帰途に着きました。
以上、簡単ですが報告といたします。

学術部報告

学術部長　佐藤　明

１．第１回生涯研修会報告

日時　　平成２６年６月１５日（日）午前９時４５分～午後３時４５分
会場　　プラザおでって３階大会議室
内容　　講演１「保険取扱いについて」講義と質疑応答
　　講師　岩手県鍼灸マッサージ師会業務執行理事・保険部長
　　青山鍼灸院院長　袖林　広正法　先生
講演２「膝関節症の臨床例」　講義と質疑応答
　　講師　岩手県鍼灸マッサージ師会理事
　　朝橋治療院院長　朝橋　正美　先生
講演３「治療院の始め方」　講義と質疑応答
　　講師　　岩手県鍼灸マッサージ師会業務執行理事・庶務部長
　　さくら治療院院長　井口　力　先生

・県師会主催による生涯研修会は通算１８回目。会員２５名、付添い２名、一般参加者２名、学生４名、カナケン播磨光明さんの合計３４名が参加
・開会式で、前年度生涯研修単位取得修了者１７名へ賞状授与

講演１「保険の取り扱い」

・配布された資料をもとに保険を使っての償還払い、委任払いの取り扱い方を初心者向けに簡潔に分かりやすく説明

・寸劇を通し参加型の研修は理解しやすく良かった
・講話の区切りごとに具体的な質問や意見も多く活発な研修となった

講演２「内反変形が進行した変形性膝関節症の治療の失敗例」
・７月６日の東鍼連山形大会のテーマ「膝関節症」のリハーサルとして発表された
・鍠鍼療法における鑑別法ついて、実技を通して解説してもらった
・治療経絡の選別は下腿の短脚足側の腎・脾・肝・胃・胆・膀胱の６経から選び、膝以外の腰痛、肩痛等にも対応できるとしている

講演３「治療院の始め方」
・体験を通した考え方や経営について講話され、学生や開業を目指す人に参考となり、新しい考え方を実践している姿は刺激になった

２．第２回生涯研修会「健康セミナー」報告

日時　　平成２６年９月１４日（日）　９時３０分～１５時３０分
場所　　岩手県立盛岡視覚支援学校２階　視聴覚室　３階　按摩実習室
内容　　午前　講演　「心の病と鍼灸治療２０１４」
　　午後　実技　「心の病と鍼灸治療２０１４」
　　講師　東京医療専門学校・鍼灸マッサージ科講師
　　船水　隆広先生

・岩手県視覚障害者福祉協会、県立盛岡視覚支援学校同窓会、岩手県鍼灸マッサージ師会の三団体共催学術研修会が、当会会員３２名を含む４１名の参加により開催された

午前の部：講演
以下のような項目を解説していただいた
１．うつ病とは
２．うつ病への対応
３．注意しなければいけない言葉
４．原因のとらえ方
５．慢性化しやすい
６．望診
７．切診①：腹診
８．切診②：背侯診
９．切診③：頭皮 その他
１０．切診④：脈診
１１．切診⑤：その他
１２．基木刺鍼穴
以上の内容で、プロジェクターを用いて講義が行われた

午後の部：実技
・経絡治療方式の実技指導の中で、随所に経験談・体験談を聞くことができた
・船水先生は、鍼灸業界の経絡治療で著名な岡田明三先生の直門の弟子である
・モデル患者の治療を通し、間近で刺鍼技術の手技手法や手さばきを見ることができて幸運であった
・通常の鍼のほか鍠鍼（金、銀、水晶）を紹介いただき、使い方も教えていただいた

・元気で快活口調も歯切れのいい船水先生は、先生の人間的な魅力と鍼灸治療に取り組む情熱がほとばしり、熱気を感じたセミナーとなった
・閉会式は、参加者を代表し中渡智彦さんが講師へお礼の言葉を述べ終了となった

３．第３回生涯研修会報告

日時　　平成２６年１０月２６日（日）９時４５分～１５時４５分
場所　　盛岡市総合福祉センター　３階老人教養室（和室）
内容　　午前の部：講演「介護保険事業経営について」
講師　ケアサービス　まごのて
代表　久保　忍先生
午後の部：講演と実技「美容鍼灸について」
講師　たかまつ鍼灸整骨院
代表　阿部　和恵先生

・会員２４名を含む合計３２名が参加した

午前の部：講演

・演題は「夢をかたちに・・・」として、起業迄の経緯と思いを語っていただいた
・祖父の病気と介護体験から、かゆい所に手が届くサービスを事業化したいと、２０代で創業し以来１３年、社員数６０名のトップとして５つの事業所を経営している
・盛岡市初のグループホーム開設、盛岡市初の有料老人ホームの開設をはじめ、社会的ニーズを速やかに捉え、社員の改善提案やアイデアを事業化してきた
・失敗を経験しながら経営が安定した転換点は、経営理念を導入し地域貢献を明確に掲げ、経営者と職員が同じ方向性を持ちながら実践したことにより、目標意識、コスト意識の共有が事業所のカラーになっている
・地域からの信頼を得るまでの苦労を経て、次なる事業として働く子育てママの支援託児所事業も視野に入れている
・講演後の質疑では、活発な質問があり丁寧に答えていただき、バイタリティーあふれる久保先生の生き方に圧倒された２時間だった。

午後の部：講演と実技

・最初に一通りの施術の流れを、配布資料を基に説明していただいた
・美容鍼灸の目的は、顔のたるみや皺をリフトアップさせ、体液・血液を動かし顔面の新陳代謝を活発化させるというもの
・その他、むくみ、ゆがみ、ほうれい線、眉間・おでこ・目の周囲の皺、目の下のクマ、吹き出物、眼精疲労等にも効果がある
・使用鍼は、セイリン JSP タイプの 01 番（0.14㎜×15㎜）、皺の部分に貼り付けるためのパイオネックス円皮鍼と、クマ・くすみに用いるカナケン雅灸（みやびきゅう）ソフトタイプを使う
・ベッドを会場中央に整えて、モデル患者は盛内優子さん、施術前の顔写真を撮影し、顔半分の施術後と顔の左右を施術した後にも写真を撮り比較した
・皮膚の色つや、張りと潤いが変化したことがはっきりと分かり、顔以外に頭皮にも適宜基本穴に刺鍼していた
・中渡智彦さんにも体験してもらい、目・眉・鼻・口唇・耳の高さに左右差があり、下がっ

ている側から施術し、施術後に左右差を確認しもう片方を施術するという手順を指導してもらった

・美容鍼灸での使用経穴は比較的少ないため覚えやすく、管鍼法で切皮程度の刺入と刺鍼時間も数分程度の置鍼であり、次々と切皮と刺鍼を繰り返す手法であった

・切皮の感触も 01 番だけに全く痛みは感じないと体験者は話していた

・阿部先生は、実技指導をしながら懇切丁寧に質問に答えてくださり、参加者一同は満足できた実技指導となった

４．第４回生涯研修会

日時　　平成２７年３月１日（日）９時４５分～１５時４５分

場所　　アイーナ　６階　団体活動室２

内容　　午前の部：講演「看護師という仕事について」

講師：公益社団法人岩手県看護協会

会長　兼田　昭子　先生

午後の部：講演と実技「地域健康つくり指導者研修会伝達講習」

講師：介護予防事業推進委員会

委員長　古水健吾

委員　　佐藤　明

・会員 32 名を含む合計 37 名の参加者があった

・開講式において、生涯研修会５年連続修了認定者、佐々木実、伊藤庸一、松下優子、袖林広正法、佐々木金男各氏と１０年連続修了認定者の古水健吾氏に修了証書伝達を行った

午前の部：講演

・兼田先生は、看護師としてなぜ岩手を就職先としたか。看護学校の入学試験の際に訪れた時、盛岡人の人情と開運橋から見た岩手山の美しさに魅了されたため

・卒業後の職歴や看護協会活動へのいきさつ、現在の協会の事業活動について、看護師の仕事の分野等を話していただき、質問も多くあり関心も高く反響も大きいものだった

・認定看護師と専門看護師の資格があることを知り、高い知識と技術と経験の上に、難関の研修を積まないと取得できない

・「まちの保健室」の活動は、県内７か所で実施されていて、将来的に私たちも大いに参考にしていいのではないかと思った

・まとめると、看護師や看護職の教育研修と資質向上、働く環境の改善、後進の育成や組織強化、看護知識の社会への普及啓発活動、地域ケアサービスの実施促進、県民の健康と福祉の増進などに対し、その職業意識を高め業界の力を結集しながら、看護の価値を高めるため全力で取り組んでいる姿を学ぶことができた

午後の部：一題目

・地域健康つくり指導者研修会伝達講習会として、古水健吾委員長から先進地視察見学について報告があった

・２月１３日（金）午後、「ながみね治療院」（埼玉県川口市）の健康教室の様子やデイサービス施設見学についての講話があった

・地域健康つくり指導者研修会参加報告として、２月１４日（土）午後から１５日（日）午前にかけて、ＢＩＺ新宿（東京都西新宿）で開催された、今回のテーマである「地域包括

ケアシステム」について報告された
・２０２５年と２０５５年がキーワード、今後、少ない労働力人口で多くの高齢者を養う。本人や家族の選択と心がまえが重要、本人の希望の多くは、家族に依存せず生活できる介護サービスを自宅で受けたい。そういう希望を元に「包括ケアシステム」が生まれた
・人口１万人規模が目安で、介護、医療、生活支援、予防、住まいという五つが協力しあって、利用者にサービスを行うことを「地域包括ケアシステム」と呼ぶ
・平成２７年度から移行され、要支援は市町村が主体となり、町作りとして地域ケア会議、配食、交流サロンを実施し、要支援の人でも参加できる住民主体の通いの場として、町内会単位での体操教室などが想定される
・今回の制度改正により、「地域包括ケアシステム」の専門職種の中に、あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師が入れられた
・鍼・灸・マッサージ師が参加できるものは、地域ケア会議への参加を要望したり、交流サロン、町内会単位の体操教室、アセスメントアドバイザーとして活動するなど
・制度の改正により、平成２９年の４月までに行うこととされ、「地域包括ケアシステム」で何ができるかと言えば、介護、デイサービスで機能訓練指導員、デイサービスの経営、ケアマネジャーとしての活動が考えられ、医療と連携しての鍼、灸、マッサージの活用、予防としての鍼、灸、マッサージと運動指導が可能となろう
・日本鍼灸師会では介護予防指導員を養成していて、生活支援、見守り、往診時の安否確認などの活用や、住まい、日常生活のアドバイス、その他、社会活動、ボランティアなどの活動ができるし、介護予防は、治療院、訪問先でもできるとしている
・鍼・灸・マッサージ師としての課題と必要なことは、個々のスキルアップ、業界内の連携と他職種との連携、地域への周知活動などがあり、今後、超少子化、超高齢化が進行して行く中で、住民と専門職種の連携協力は必要性が高まっている
・翌２月１５日は、プレゼン能力向上のために、話し方の基本について、ニッポン放送元アナウンサーおくぎあいこ氏による指導で発声練習や母音をしっかり発音すること、相手にしっかり聞こえ伝わるように話すには、滑舌が特に大切であることを指導いただいた

午後の部：二題目
・第８回地域健康つくり指導者養成研修会参加報告を、介護予防委員の佐藤が講話をした
・健康つくり研修会の目的は、「機能訓練指導員としての指導力を向上させる」ことと、専門職として「知らないと困る地域包括ケアシステム」についてがテーマであった

１．有限会社ながみね治療院視察見学報告
・２月１３日（金）午後２時～４時迄、地域公民館での「健康つくり教室」見学体験
・スタッフ１４名で、治療院経営、午前と午後に３時間枠で１０名のデイサービス、健康つくり教室を運営
・８年前から健康つくり教室を開催、約５７万人の川口市から年間４つの教室を受託
・この日の教室は、リーダーを入れた４名が女性１１名、男性５名を指導
・プログラムは、バイタルチェック、主に健康講話、チェアエクササイズ、頭の体操として上肢や手を使いグーパー体操、ゴムボールやゴムバンドを用いた運動
・鍼灸師で理学療法士の女性リーダーが教室のメニューを作り、健康講話は骨格や良い姿勢の保ち方などを指導

・元気の郷（さと）デイサービスセンターは、男性鍼灸マッサージ師の施設長が中心に運営し、マシンは使わず徒手や身体を使ったトレーニングが主体
・足湯を取り入れ、クーラーボックスに個人専用ビニール袋にお湯を入れる方式

２．平成２６年度２月度地域健康つくり指導者養成研修会参加報告

（１）２月１４日（土）１２時～１８時迄、新宿区立産業会館（BIZ 新宿）
・全国から、初回者コース、ステップアップコース受講者約５０名が参加
・長嶺芳文健康つくり委員長から「地域包括ケアシステムと予防の必要性」の講演
・経絡テストとストレッチの方法やチェアエクササイズの運動指導の復習
・厚労省老健局老人保健課医療・介護連携技術推進官逢坂悟郎氏が講演し、我が国の医療・介護分野の将来予想図を述べ、１０年後～４０年後の日本の年齢別人口の推移予測から、地域包括ケアシステムの構築が急務と述べた
・急速化する少子高齢化を前提に、具体策を掲げながら在宅医療・介護連携を取り入れた町づくりの重要性の説明があり、高齢者への生きがいや介護予防につながる社会参加・社会的役割を持つことが必要となる
・これからの一般介護予防として、介護予防を地域主体で取り組む国内の先進事例を紹介し、市町村を核とする民間協働の支援体制を構築することが重要となり、鍼灸マッサージ師の役割として、市町村を支援する必要と地域住民の主体的介護予防活動に対する運動指導にアドバイスしてほしいと話された

（２）２月１５日（日）９時～１２時迄、新宿区立産業会館（BIZ 新宿）
・二日目、運動指導のレベルアップを図る目的で、朝日山先生から実技指導を受けた
・「ドローイン」と「体幹トレーニング」を意識した運動指導をしてほしい
・ドローインとは、お腹を内側に引っ込める動作、ドローインをしながら運動療法やスポーツをすると体幹が強化される
・体幹トレーニングの体幹とは、「腰からお腹周りの筋肉」で、肋骨下から骨盤までの部位のことで、特にインナーマッスルが重要である
・全体会では、ニッポン放送元アナウンサーの大久保愛子氏から発声法や滑舌の訓練法を指導された
・ステップアップコースの参加者が、全員の前で三分間スピーチの練習を行い、最後に、地域健康つくり指導者認定審査会があった

午後の部：実技指導
・経絡テストと経絡ストレッチを行い、頚部と腰部のテストとそれを改善するためのストレッチ法を指導した
・簡単な方式で即効性もあり、すぐ明日から患者さんに活用できる方法でもあり、経絡というものを現象を通して感じてもらうために有効である
・チェアエクササイズの方法について、バージョンアップしたことを伝え、下肢や上肢、手指を使うグーパー体操も体験してもらった
・ドローインと体幹トレーニングについて、モデルの方に実演してもらいながら説明した
少しきつい動作や体操であり、高齢者には段階を経て指導する必要がある
・ドローインは、「お腹を引っ込める」だけであり、年齢関係なく日常生活の中で意識するだけで、自然に体幹が強化されることになる

午後の部：三題目

・佐々木会長から、全鍼師会の最新情報であるネームプレートのことや岩手県視覚障がい者関連団体協議会で討議された情報を話していただいた

・平成２８年度開催の岩手県障害者国体について、マッサージボランティアの要請が県庁からあったことなども触れていただいた

事業部報告

事業部長　館下　正則

平成２６年度ボランティア実施報告

師会名	実施日	場　　所	参加人数	施術人数
二戸	11/5	老人ホーム「わくわく荘」	4	25
奥州	10/26	ボランティアフェスタ（総合福祉センター）	4	38
大船渡	9/21	老人ホーム「富美岡荘」	7	45
盛岡	11/16	西厨川老人福祉センター	11	19
盛岡	11/25	上堂老人福祉センター	5	14
一関	5/18	老人ホーム「関生園、福光園、ケアサポート」	7	38
一関	7/13	老人ホーム「関生園、福光園」	6	22
県	9/17	盛岡市上田公民館	7	13
県	9/19	北上市「マスターズ陸上」	3	16
県	9/23	北上市「マスターズ陸上」	3	20
県	9/24	盛岡市上田公民館	7	13
県	9/28	一関国際ハーフマラソン	10	90
県	10/1	盛岡市上田公民館	5	11
県	10/15	盛岡市上田公民館	7	12
県	10/22	盛岡市上田公民館	6	11
県	10/29	盛岡市上田公民館	6	11
県	11/5	盛岡市上田公民館	8	8
合計 6	18 日	9 会場	106	406

平成２６年度 釜石小川地区高齢者サポートセンター鍼灸マッサージボランティア報告

実施日	参加人数	施術人数	実施日	参加人数	施術人数
4/20	2	10	10/19	2	9
4/27	2	8	10/26	2	10
5/4	2	10	11/2	2	9
5/11	2	13	11/9	2	9
5/18	2	11	11/16	2	9
5/25	2	9	11/23	2	11
6/1	2	10	11/30	2	12
6/8	2	10	12/7	2	11
6/15	2	11	12/14	2	10
6/22	2	10	12/21	2	8
6/29	2	11	12/28	2	12
7/6	2	11	平成 27 年		
7/13	2	11	1/4	2	12
7/20	2	8	1/11	2	10
7/27	2	9	1/18	2	11
8/3	2	10	1/25	2	10
8/10	2	11	2/1	2	11
8/17	2	9	2/8	2	10
8/24	2	11	2/15	2	11
8/31	2	6	2/22	2	11
9/7	2	12	3/1	2	10
9/14	2	12	3/8	2	10
9/21	2	12	3/15	2	10
9/28	2	10	3/22	2	10
10/5	2	10	3/29	2	11
10/12	2	12	合計 50 回	100	514

保険部報告

保険部長　袖林　広正法

活動報告

６月１５日　第１回生涯研修会にて保険取扱い説明を行った

７月　３日　東鍼連保険部長会議出席（山形）

１１月２１日　東鍼連保険部長会議（仙台白萩）

東鍼連保険部長会議報告

まず、各県の取扱高です。

青森は、鍼灸１１５８万円（並）、マッサージ２７０２万円（並）です。

岩手は、鍼灸１００３件、１１８５万円（２００万増）、マッサージ３６２件、１７５４万円（３００万円減）です。

秋田は、鍼灸３８６件、２４４万円（５８９万円減）、マッサージ１６９６件、４５６７万円（２８１万円減）、です。

宮城は、鍼灸３６２４件、３２９７万円（１１６７万円減）、マッサージ１２８１件、２６９２万円（１１７万円増）です。

山形は、鍼灸６２４３万円（１２５万円増）、マッサージ７５２０万円、（３７６万円減）です。

福島は、鍼灸４２９３件４９６３万円（２３０万円増）、マッサージ２７８４件、３２５４万円（４９７万円増）です。

その他、他県の保険部長は県の会長などに昇格したので、そろそろ世代交代の時期にきているのではないか？

また、青森では医師が同意書を出してくれなくなったので、大変だとのことでした。

以上報告とします。

組織強化部報告

組織強化部長　佐藤　茂

平成２６年度　東鍼連交流会 in 秋田

平成２６年８月３０日、３１日に秋田県の横手市にて東鍼連交流会が開催され、本県師会より佐藤茂が参加しました。

「こまち」で盛岡～大曲へ行き、在来線で横手へと行ってきました。時間に余裕があり、横手駅周辺をぶらりと探索しました。

やけに空き店舗が目につきました。かつては活気があったと思いますが、横手もどこも似たようなものです。

会場は横手駅すぐ近くの横手プラザホテルで参加者は約２０名でした。青森欠席、岩手１人（自分）、宮城３人、山形２人、福島５人、開催県秋田がお義理で横手周辺の方々や盲学校の学生らしき人達が１０人以上参加していました。

先にチェックインを済まし、荷物を部屋に置き会場へ向かいました。交流会は４時から始まり、講演は秋田県師会副会長の高橋和彦先生による「骨折、靭帯損傷のテスト法について」でした。実技を交えながらの講演で、質疑応答も活発で有意義な講演でした。因みに私がモデルを買って

出ました。

懇親会までの空き時間に組織強化委員会を行いましたが、来年の当番県である青森が欠席なので、まとまりのない話し合いになってしまいました。今回の話し合いでは、連絡網を作成するということが決まりました

翌日は福島県師会会長の平栗辰也先生の講演でした。内容は治療院経営についてでした。

それにしても、この先生は色々やっている方で並の人には到底真似はできないと思いました。治療家には職人タイプ、学者タイプ、経営者タイプ、政治家タイプの４通りあると思いますが、平栗先生は経営者タイプで他人に自分の治療院を任せることができるくらいの治療院にしたのだから、すごい方だと思います。私は、生涯現役でいたいので、人に任せることは出来ないと思います。これくらいパワフルな先生は多分東北にはいないだろうと思います。

平栗先生の講演の後にふるさと村に観光へ出かけ、稲庭うどんを食べて解散となりました。

今回の交流会は時期や開始の時間帯のせいか岩手では１人しか参加できなかった訳ですが、来年の東鍼連大会は７月の４日、５日に秋田の大仙市で開催されます。いつもと違い、日・月ではなく、土・日になります。

皆さん、隣の県で行きやすいのでふるって参加しましょう。

第１３回東洋療法推進大会 in 岡山

一関師会　伊藤　庸一

１. 目的：全国の鍼灸マッサージ師の資質向上を資するため、公開講座並びに研修と臨床の学術の場を提供するとともに、鍼灸マッサージ業界はもとより、一般公開講座をもって国民への、より良質の医療と情報を提供するための大会とする。

２. 大会テーマ：「東洋療法と癒しの心～世界に広げたい日本の鍼灸マッサージ～」

１０月１９日（日）１２：００～１７：３０

第１部

開会式

第２部

特別講演：「医師が認め自ら行う手技療法と代替医療のすすめ」

講師　長尾光城　川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科教授

第３部

①学術委員会＆保険推進委員会（合同）

シンポジウム：「在宅医療マッサージ調査・研究報告」～今後の方向性を検討する～

＊概要　昨年会員の協力により、在宅医療マッサージの実態調査を行い６４施設１５８７件の回答があった。治療に関しては週１～２回が最も多く、治療時間は２０～３０分、マッサージプラス訓練をしているところが多く、介護度２と５の受療者が多かった。今後は、在宅医療マッサージを進めて行くうえで医師、ＰＴ、看護師と共有できる評価、カルテ、報告書などに関する知識、技量を高めていかなければならない。さらに社会保障制度抑制のなかにあって適正な取扱いが望まれる。

②無免許対策委員会

シンポジウム：「無免許者との差別化方策の方向性」

第４部

③学術委員会

シンポジウム：「かかりつけ鍼灸マッサージ師の役割」

～地域医療を担う専門職として地位確立を～

＊概要　医師会では「かかりつけ医」制度を積極的に推進しているが、国民の健康保持増進に役立つよう我々も鍼灸マッサージ師版かかりつけ医制度を構築する必要があると考えている。そこで「かかりつけ鍼灸マッサージ師」のポスターを作製した。内容には「治療・予防・連携・相談」の４つの項目が記載されているが「治療・予防」に関しては各専門領域のスキルアップが必要であり「連携・相談」に関しては地域ネットワークを活かして、医師や関係機関との連携を図り最適の医療サービスの提案が出来るようにしていく事が望まれる。

④スポーツ事業委員会

シンポジウム：「東京オリンピックに向けて」

１０月２０日（月）９：００～１３：００

第５部

⑤学術委員会

「一般口演」（１０題）

⑥保険推進委員会

「社会保障制度抑制トレンドの中での鍼灸マッサージ」

＊概要　療養費は２６年４月１日に消費税分０．６８％手当されたが、今後社会保障費が抑制されていく中様々な問題点を解決し、国民の健康に資する鍼灸マッサージ師を目指し、更にその先を見据えていく必要がある。

⑦スパ事業委員会

「日本型スパと東洋療法」

第６部

⑧地域健康つくり委員会

「地域で健康つくりの指導者となるためには」

＊概要　我が国は、将来的な人口減少や超高齢化に向けて継続可能な社会保障制度を確立するための法整備が最重要課題の一つとして挙げられている。次期介護保険制度改正では、住み慣れた地域で尊厳をもって暮らして行く。その為には、地域全体で多職種が連携しながら支え合う仕組みづくりが急がれている。その仕組みである「地域包括ケアシステムの構築」は介護保険制度改正の主役であると考えられる。この、システムに鍼灸マッサージ師が、必要とされる資源としてその役割を見出して行かなければならない。

⑨視覚障害委員会

「相談事業に見る治療院経営の現状と課題」

⑩スパ事業委員会

実技講習：「スパで実践する健康美容鍼灸」

第７部

分科会報告・閉会式

以上、報告といたします。

アジアマスターズ陸上競技大会鍼灸マッサージボランティア報告

スポーツセラピー担当　朝橋　正美

９月１９日（金）から２３日（火）までの５日間、北上市の陸上競技場で第１８回アジアマスターズ陸上競技大会が行われました。１６か国９３７人の外国人を含む選手２８８１人、役員１５０人、各種ボランティア１００人という大きな大会でした。

この国際大会に、県師会でも協力しようということになり、初日の１９日と最終日の２３日に鍼灸マッサージボランティアを行いました。マスターズ大会で鍼灸マッサージボランティアをするのは大会史上初ということで、初めはＰＲ不足もあって受けに来る人が少なかったのですが、知れ渡るとどんどん来るようになりました。１０時から３時まで（昼休み１時間）という間に、１９日は１６人、２３日は２０人の選手、役員が施術を受けに来ました。マスターズというだけに、３５歳から１００歳を超える人たちの参加ですから、痛い所も千差万別です。スポーツ障害もあれば加齢から来る痛みもあります。でも、スポーツをしているみなさんは明るく元気です。

中にはインドやネパール、中国の人たちも来ましたが、通訳が付いていないため、どこをやって欲しいのか分かりません。片言の英語と身振り手振りで、やっと通じるという有様でした。一関ハーフマラソンボランティアでは、選手一人一人に通訳が付いているので、今回もてっきりそうだろうと思っていた私たちは四苦八苦でした。

「簡単な英会話くらい出来ないとだめだな」

「スピードラーニングでもやるか」

そんな話をしながら帰途につきました。良い経験になったと思います。

平成２６年度介護予防事業推進委員会報告

委員長　古水　健吾

１．第１回委員会会議開催

日時：平成２６年４月６日(日)　１６時～１７時

会場：アイーナ５階ミーティングルーム、参加者６名

議題：平成２６年度活動計画案、平成２６年度会計予算案

２．第１２回勉強会開催

日時：６月１５日１６時～１７時

会場：プラザおでって・大会議室、参加者６名

議題：盛岡市社協主催介護予防教室リハーサル兼打ち合わせ

３．盛岡市社協主催介護予防教室（ふれあいサロン）指導

日時：７月２日（水）１０時３０分～１１時３０分

場所：城西町公民館、参加者：約３０名

指導員：佐藤　明、松下優子、清水寛平、佐々木厚男

４．第１３回勉強会開催

日時：８月３１日(日)　１５時～１７時

会場：アイーナ６階・団活-２、参加者６名

議題：貯筋運動（健康づくり・介護予防）教室リハーサル兼打合せ

５．貯筋運動（健康づくり・介護予防）教室開催
主催：地域クラブふくし岩手と共催
期日： ９月１７日～１１月５日毎水曜日（１０月８日除く）１４時～１６時、全７回
場所：上田公民館２階視聴覚室
参加者：のべ１０９名（内、マッサージ施術：のべ７９名）
指導員：介護予防委員会メンバーのべ４８名

６．第１４回勉強会開催
日時：１０月１５日(水) １６時～１７時
会場：上田公民館・視聴覚室、参加者５名
議題：貯筋運動（健康づくり・介護予防）教室中間ミーティング
反省点と改善点

７．陸前高田市健康づくり教室に出席
期日：１１月１４日（金）２回、午前と午後に２会場で開催され、古水健吾委員長が指導者として出席

８．第１５回勉強会と慰労会開催
日時：１１月２３日（日）１５時３０分～１７時
会場：アイーナ・ミーティングルーム、参加者８名
議題：貯筋運動（健康づくり・介護予防）教室反省点と改善点ほか
慰労会：スナックえびいず

９．先進地視察見学
視察先：埼玉県川口市、有限会社ながみね治療院
日時：２月１３日（金）１４時～１７時、参加者：古水健吾、佐藤明
場所：地域公民館において「健康つくり教室」の見学と体験
「元気の郷（さと）デイサービス」施設見学

１０．平成２６年度２月度地域健康つくり指導者養成研修会参加
日時：２月１４日（土）１２時～１８時、２月１５日（日）９時～１２時
会場：新宿区立産業会館（BIZ 新宿)、参加者：古水健吾、佐藤明
内容：講演（地域包括ケアシステム関連)、運動指導法、プレゼン能力向上
認定審査会（佐藤明認定証受賞）

１１．平成２６年度第２回委員会会議開催
日時：平成２７年３月１日(日) １６時～１７時
会場：アイーナ６階　団体活動室−２
議題：平成２６年度活動報告、平成２６年度会計決算報告
平成２７年度活動計画案、平成２７年度会計予算案

東鍼連山形大会学術臨床発表

「内反変形が進行した形性膝関節症の治療の失敗例」

遠野師会長　朝橋　正美

【目的】

７６歳の女性が変形性膝関節症で整形外科に通院していました。（治療は月１回）痛みが軽くならないかと、鍼治療の依頼がありました。施術は週１回で１０カ月間続けましたが結局は歩行困難になってしまい、手術することになってしまいました。本人は病院から手術を勧められていましたが高齢ということもあり拒否していました。こういう事がないように早めの決断と説得が必要だと思い発表します。

【方法】

症状は立ち上がり痛、歩行痛、右膝関節部の腫脹（病院で水をとっている）、内反変形（手指１２本）。胃潰瘍で通院しているので鎮痛剤は飲んでいない。まずは膝まわりの筋肉をつけるため運動を教えました。

座位からのスクワット、膝上げ、かかと上げ、座位にてける。この４つの運動を２０回ずつやってもらいました。

鍼は全体のバランスをとるために腹部（章門）、背部（厥陰俞、三焦俞）、上肢は三焦経（２穴）、心包経（２穴）、下肢は脾経（２穴）、胃経（２穴）、局所に（犢鼻）を使用。結果】効果はあまりなく、トイレには立てないので尻歩きで行くようになりました。痛みで食欲もなくなり、点滴投与になり、結局のところ手術になってしまいました。

【考察】

病院で変形性膝関節症と診断されており類症疾患の鑑別はしませんでした。【結語】慢性化の痛みでは、１０回の施術で効果が見られない場合には、鍼治療は中止して医師に任せるべきである。

各師会活動報告

二戸師会報告

広報担当　古舘　吉弘

平成２７年になり早いもので１か月が過ぎようとしております。
皆様は２７年の年をどのように迎えられましたか。私は、年をまたぎ風邪をひいてしまい最悪の年越しとなりました。

さて、昨年は国内外にとっていろいろなことがありました。例えば、ウクライナ問題や、日本と、中国さらに韓国などとあまり関係が良くならないまま年を越しました。

また、国内でも相変わらず異常気象と思われるような災害があちこちで発生し、亡くなられた方々が多くありました。被害を受けられた方々に対しお見舞い申し上げます。

１２月になり考えてもいなかった衆議院選挙が行われ、はたして何を求められたのかわからないまま終わり、結局自公民で３分の２を超える議席をとりました。今後、どのように世の中変わっていくのか見守りたいです。

さて、二戸師会の状況ですが、特にこれといって変わったことはありませんが、やはり高齢者が多く出席できない人も出てきており、少ない人数で事業をやることになりました。その他若干体調を崩された方もいますが何とか頑張っています。

ただ、景気回復の恩恵もなくこちらでは患者が激減しているという話を聞きます。私の処もかなり減少してきております。本当に、これからは大変だなと感じております。

事業としては、４月の１２日に定時総会を行いました。１１月５日には二戸のわくわく荘で奉仕を行いました。そのほかにも、県総会や研修会などにも出席しました。

今後とも、二戸師会を宜しくお願いします。

皆様にとって２７年が良い年でありますよう以上二戸師会の報告でした。

盛岡師会報告

総務部　中渡　智彦

みなさんこんにちは。これから２年間総務を担当することになりましたので、どうぞよろしくお願いします。

平成１４年から盛岡師会長をされていた佐々木金男さんが退任され、４月から佐藤明さんが就任し、平成２６年度がスタートしました。

今年度の入会者は、伊勢澤佑介さん、姜奈希さん、櫻田未音さん、村上哲也さんの４名です。

盛岡師会では佐々木金男前会長のご尽力により、平成１７年４月から盛岡市の委託事業として、「マッサージ等指導教室事業」が市内４か所の老人福祉センターにおいて、４名で実施されています。来年度に向けて市の担当者から事業改善見直しの意見交換会をしたいと連絡があり、３月末までに最終調整を終えるよう進めています。

①人員を増員する。（応募の結果、現在９名が参加希望）

②指導者の要件を盛岡市内に住所を有する按摩・マッサージ・指圧師免許所有者で、視覚障害者限定を解除して、晴眼者も対象とする。

③教室１回あたり、２～３名体制とし、２時間枠にして体操や健康講話を少し加える。

④４つのセンターで、年間のべ１００回の教室を開催する。

以上が１月末現在の改善項目です。

これを踏まえ一人でも多くの市民にマッサージを体験してもらえるような「マッサージ指導教室」に努力していきたいと思っています。

次に、活動日誌です。

４月１３日　定期総会。

１１月１６日　西厨川老人福祉センターでマッサージボランティア１１人で１９名施術。

１１月２５日　上堂児童・老人福祉センターでマッサージボランティア。５人で９名施術。
１２月　６日　忘年会。
　他に、４回の役員会、県や上部団体行事へ参加しました。
また、釜石で行われているマッサージボランティアにも参加しています。
　会員は６０名となり、研修会への参加は増えてはおりますが、まだ１度も参加したことのない方々もいますので、２７年度は会員の皆様の一層のご協力をお願いして、報告といたします。

奥州師会

副師会長　小野田サヨ子

　創立１０１周年目の本年、当師会には、まごころ治療院に勤務する佐藤博美さんと高橋悠介さんの、若き２名の新人が加わり、会員数再び２桁台に回復致しました。この勢いで２７年度更なる飛躍を期待したいところなのですが・・・。
　本会の活動
平成２６年
　４月１３日　定期総会
　５月２５日　第１回役員会
１０月２６日　奥州市水沢区ボランティアフェスティバルにおいてボランティアマッサージに協力参加
１２月１４日　第２回役員会
平成２７年
　１月２５日　新年会
　２月２２日　第３回役員会

遠野師会

遠野師会長　朝橋　正美

　２０１４年度も県師会の応援を得ながら釜石での奉仕活動を続けることができました。
今年から毎週行うことになったので、佐々木実会長はメンバーのやりくりが大変だったと思います。改めて会長の支援に対しお礼を申し上げます。
　また、個人的なことになりますが，介護予防委員会に入会しました。
特に盛岡市上田公民館での介護予防教室では運動指導をしました。自分にとっても委員会にとってもかなり勉強になったと思います。

一関師会

師会長　館下　正則

　会員の皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。長期予報では暖冬ということでしたが、実際には早々に爆弾低気圧が襲来し、今年も寒くて、雪の多い冬となりました。今年を振り返って見れば、広島の土砂崩れ、御嶽山の噴火、長野の地震と自然災害が多い１年でした。

さて、今年１年の一関師会の動向ですが、入会者は石垣慎さん、そして村上哲也さんが盛岡師会へ移籍し、会員数は１１名です。

活動報告

４月１３日　定時総会（福祉センター）１０名参加

５月１８日　第１回慰問治療（関生園・福光園）６名で２２名施術

７月１３日　９第２回慰問治療（関生園・福光園）６名で２２名施術

９月２８日　第３３回一関市国際ハーフマラソンマッサージボランティア（鍼灸の日の記念事業とし、県師会との共催として行った。）協力者は県師会１名、一関師会９名で９０名施術

その他、県の事業、東鍼連、研修会への参加をよびかけ参加しております。

宮古師会

宮古師会長　上館　宏

本年も宮古師会としての活動はございませんでした。

個人的には、特養施設での業務委嘱は３月末で一区切りさせて戴きました。（私なりに少々思うところがありましたので）

光陰矢の如しで、開業して８年目を迎えますが、世界も日本も医療でもビジネスでも多種多様な価値観とスピードで少々疲れました。私事でありますが、難病の確定診断を受けてから症状の強弱、不定愁訴を和らげ助けてくれたのは鍼灸按摩マッサージ師の先生でした。自分も助けられた東洋医学を学び治療家となるご縁を戴き、一念発起して３年間（鍼灸マッサージ師会の先生方が経験された事と存じます）研鑽の日々です。

３年間、解剖学、生理学、臨床医学各論・総論、病理学、衛生学、リハビリテーション医学等西洋医学プラスして経絡経穴概論、東洋医学臨床論、按摩マッサージ、鍼、灸がどういった機序で人体に効果を及ぼすかの理療理論等の東洋医学の学術を・・・そしてペーパードライバーでは生業として成り立ちませんので学術的レベルと併せて手技・実技臨床技術もクリアしてから（医療機関での解剖実習や臨床実習の単位も取得して）、国家試験の受験資格を得られる試験も単なる暗記やうろ覚えでは正答を導けない年々難問になり、過去問演習で盤石な国家試験ではなくなっています決して生半可な甘い考えでは取得出来ない重い国家資格だと思いますが・・・・・。

私の周りでも軽く考え、見下している方々が残念ながらおられます。むしろそれが普通なのかと考えられるようになりました。そうなると少し気持ちが軽くなりました。

よく「商売繁盛で良いね」と言われましたが・・・１番嫌いな言われ方でした。（心の中で、「だったらもっと高単価で稼働率を上げられる、理療経営をするよ」と思っていました。）一般の方は、無免許、無資格者であろうとも立地や交通アクセスが良く見栄えが良く、リラクゼーション目的であればそれで充分なのだと。私のような田舎で見栄えもぱっとしない治療室であっても、本当につらい方々はいらっしゃいます。７年間定期的においでくださいます。

こういった、本当に私達鍼灸按摩マッサージ師を必要としている利用者様を誠心誠意治療していくことが結果的に無資格者、無免許のビジネス事業者との差別化であり、大手の事業者と異なり、かゆいところに手が届く個人治療院の優位性であり、治療家としての存在意義を実感するときだと改めて考えさせられた１年でした。

個人的には更なるスキルアップの為、東京の某医学部の講座でリハビリマッサージの認定講習も受講して参ります。複数回有りますのでしっかりと学んできます。勤務しておられる先生方にはピンとこないかもしれませんが、開業されておられる先生方には共鳴される点もあるかと思います。

皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

大船渡師会

大船渡師会長 古水健吾

４月１３日　２６年度総会　百樹屋　８名参加
９月２１日　マッサージ奉仕活動 富岡荘 ７名参加で、４５名施術
１２月１４日　忘年会 大船渡温泉　８名参加
１月１１日　県師会執行部会に参加協力 福祉センター、 大船渡温泉
その他、 県師会マッサージボランティアに協力 釜石小川地区高齢者サポートセンター

２６年度の大船渡師会の活動も、ボランティアのみなさんの協力を得ながら、２５年度と同じようにできました。また、今年度は、三鉄の全線開通により、県師会が釜石で行っているボランティアにも協力できました。

震災からまもなく４年になりますが、状況はまだきびしい所があります。会員の中にはまだ仮設住宅暮らしの方や、仮設での営業の方もおります。交通期間では、ＢＲＴでの復旧、三鉄の全線開通となりましたが、路線バスを含め、震災前のようではありませんが少しずつ復興してきているように思います。

２７年度も、少数精鋭で頑張って活動していきたいと思います。

県師会文庫一覧

岩手県師会では平成２５年度より、会員から寄せられた東洋療法関係の本やＤＶＤ、講演ＣＤなどを無料で会員に貸し出しています。墨字本の送料は自己負担となりますが、それ以外は送料も含め貸出料金は無料です。貸出を希望される方は、佐々木実まで連絡下さい。

佐々木　実：電話０１９５－７７－２０５７、メールアドレス：ms2001@aioros.ocn.ne.jp

県師会文庫　本の部

NO.1（点字）

「おうちで簡単！お灸エステ」　北川　毅（全２巻）

以下は全本活字本です。

鍼灸

・脈から見える世界
・劉勇の疾患別臨床　鍼灸テクニック
・反応点治療
・鍼灸医療への科学的アプローチ
・婦人科の針治療

・図解臨床ツボ療法
・鍼灸治療における感染予防と指針
・刺絡治療法
・超常識難病の調伏策を提案する
・皮下針法
・長友・MP 鍼灸講和八十八輯
・鍼灸補瀉要穴之図
・鍼灸病症学
・類経色脉偏
・奇経治療
・経絡の研究
・つぼ療法ハンドブック
・フジイ物理療法
・鍼灸科診療学
・鍼灸臨床における医療面接

雑誌　毎日ライフの鍼灸特集もの　※３冊

鍼灸開業繁盛の秘訣　※古い(戦前)ので現代には適さないかも

〇中医学もの
・手根・足根針
・最新中医鍼灸穴位掛図
・中国の新しい耳針療法
・鍼麻酔

〇柳谷素霊　著
・万病に効く強壮灸と治療灸の秘訣
・鍼灸医術の門
・図説鍼灸実技
・鍼灸医学全書　※第２巻と４巻のみ
・簡明不問診察法
・秘法一本鍼伝書

〇代田文誌　著
・鍼灸真髄
・鍼灸治療基礎学
・鍼灸治療臨床学
・鍼灸読本
・洞刺の手引

〇間中喜雄　著
・鍼灸臨床医学
・灸とはりの効用
・お灸の研究
・平田式熱針刺激療法

〇赤羽幸兵衛　著

・鍼灸治療法

マッサージ・手技療法

・日本マッサージ術講義

・技術編

・応病偏

・足の反射療法教本

・ノンスラストによる関節モビライゼーション

・モビリゼーションテクニック

・浪越式秘伝指圧

・軟部組織の診かたと治療

・オステオパシー姿勢保健均整法

・整体術技法皆伝書

・身体均整法　※２０冊

その他の療法

・吸角療法

・電位療法

・過労性構造医学

・イトオテルミー　※２冊

・良導絡　※４冊

一般医学

・治療学概論

・治療学提要

・打診と聴診

・脊椎『カリエス』の診断と治療

・神経領帯療法

・人体の驚異

・図解　内科診断検査法手技

・予後及付随症状・合併症・併発症・後胎症之治療

・暮らしの医学百科

食事療法

・にんにく健康法

・クコの効用

・おかず健康法

・新食養療法

・食養料理法

・東原先生と乳酸菌生産物質

古典

※目録作成者より通達和綴装丁本

全てが和綴装丁本であり古い書物が多く、傷んでいるものや虫食いされている本もあり。その

ため文字が読みにくいページが多々ある。
あと黴臭い。この目録を作成する際にも黴を吸い込んだためだろう肺が痛くなってしまった。
黴のアレルギーがあるなら、なおさら心して扱って欲しい。
そして、漢文と古文に明るくなくして解読は不可能である。一流の高級な漢字辞典やその他の辞書は必携となるであろう。
何故なら多くは漢字のみで訳されてはおらず、訳されているものでも合略文字の使用や古文の文章が用いられているからである。
なお、現在は訳されたものも出版されており、そちらを手にした方が黴と労力を考えれば合理的かと思われるが以下に記す。

・素問…一巻～一二巻
・霊枢…一～六巻
・難行本義…上下巻
・難行本義諺解…上下巻
・図解十四経発揮…上下巻
・十四経早合点
・十四経私語抄？　※表紙傷んで読みにくく、草書体でこう書かれているようだ
・新刊十四経絡発揮
・骨度正誤
・漢方眼科秘典
・臓腑経絡詳解
・病因指南…上下巻
・鍼灸療法秘録
・婦人易産并小児符
・隧輸通攷…上中下巻　※表紙が傷んでいるが、こう記されているようだ
・廱疽神秘灸経
・察病指南
・按摩手引

ＤＶＤリスト

NO.1
　東洋療法学校協会編　「求められる東洋療法　鍼灸編、按摩マッサージ指圧編」
NO.2
　キネシオテーピング法　監修指導　加瀬　建造
　　１．解説と肩こり編
　　２．腰痛編
　　３．関節編
NO.3
　「体も頭も良くなる回転健康法「　出演　栗田博士
NO.4
　栗田博士の臨床シリーズ　「まわひねりき両方　腰痛編」１、２

NO.5
栗田博士の臨床シリーズ　「まわひねりき両方　五十肩編」１、２
NO.6
栗田博士の臨床シリーズ　症状の本質を見抜け　part1 理論と実践
NO.7
栗田博士の臨床シリーズ　症状の本質を見抜け　part2 実践
NO.8
古典に環れ　柳谷素霊氏の心と技を伝える
前編「柳谷素霊氏とその鍼術」
後編「伊藤瑞凰氏の鍼灸臨床」
NO.9
日本気導術学会編　「気導術の真実」（平成１６年録画）
NO.10
東洋医学　講師　横山　卓
細胞　講師　林　純茂
NO.11
Ｏリングテストの基礎と臨床
１．基礎テクニック
２．テストの臨床上の応用
NO.12
Ｏリングテストの臨床　part3　テストによる治療法
テレビニュース　「水の最新情報」１，２
NO.13
誰でも出来る経筋治療　出演　明治鍼灸大学教授篠原　昭二
１．経筋治療とは
２．治療のポイント
NO.14
操体法のすすめ　小崎　順子
ひとりでできる操体操法　今　昭宏
NO.15
全鍼　「鍼灸を探る」
医道の日本　「新鍼法」part1､2
NO.16
経絡按摩基礎編　監修実技　田中　勝
１．全身按摩
２．運動療法と応用按摩
NO.17
長野式鍼灸処置法の実際（入門編）
１．長野式治療法の基本的処置法から
２．腹症を中心とした長野式処置法

NO.18（DISK２枚組）
　松本岐子氏による鍼灸療法１　part1「長野先生に聞く」　part2「臨床編」
NO.19（DISK２枚組）
　松本岐子氏による鍼灸療法２　part1「臨床例１と２」　part2「臨床例１」
NO.20
　石川文治叙勲式典・祝賀会（平成１６年５月２３日）
NO.21
　難波式骨体操
NO.22
　誰でも出来る整体（中級編）
NO.23
　チベット体操
NO.24
　すぐ実践、すぐ効果奇跡の整体術を習得する
NO.25
　古武術式楽々生活動作トレーニング
NO.26
　古武術式楽々マタニティー　ー　妊娠・安産トレーニング
NO.27
　難波式骨体操２
NO.28
　難波式骨体操３　ー　難波式日常編
NO.29
　リンパドレナージ　ー　ダイエット
NO.30
　ストレッチとテーピング
NO.31
　ヘッドスパ　究極のリラクゼーション　ー　心と頭皮をほぐすテクニック
NO.32
　レベルアップ・エクササイズ　ー　四十二式総合太極拳
NO.33
　平　直行　ー　操体法
NO.34
　浅井　けい子　ー　視覚気法と練丹操
NO.35
　片麻痺回復のための運動療法第２番

ＣＤリスト
NO.1
　「温泉療法について」２０１１年９月１８日 東洋療法推進大会 IN 福岡

NO.2
「笑って明るく生きる」　講師　島田洋七　２０１１年９月１８日　東洋療法推進大会 IN 福岡
NO.3
「鍼灸体験発表ーその時師会はどう動いたか」　講師　岩手・宮城・福島師会代表者（佐々木・山田・熊田）　２０１２年１０月１４日　東洋療法推進大会ＩＮ静岡
NO.4
「被災地で見た鍼灸の力」 講師　２０１２年１０月１４日　有田芳生　東洋療法推進大会静岡
NO.5
「安保徹講演」講師 安保徹 2012 年 7 月 1 日 東鍼連宮城大会
NO.6
「安保徹講演」講師 安保徹 ２０１３年１０月２０日 東洋療法推進大会 IN 新潟
NO.7
２００２年　「技能を通しての心のケア」　青山 その子　日東医福島大会
NO.8
２００２年　「肩間接疾患と肉離れ」　日東医福島大会
NO.9
２００２年　「星状神経節の置鍼療法」　渡辺一夫　日東医福島大会
NO.10
２００２年　「脈管外循環路について」　日東医福島大会
NO.11
２００２年　「鍼灸医学の最良の場としての鍼灸マッサージ」　永田勝太郎　日東医福島大会
NO.12
２００３年　「アメリカにおける鍼臨床事情」　中澤　弘　日東医長野大会
NO.13
２００３年　「リンパドレナージの実際」　荒井つねのり（後藤学園）　日東医長野大会
NO.14
２００３年　「腎疾患に対する東洋医学的アプローチ」　川島明　日東医長野大会
NO.15
２００３年　「生活習慣病について」　坪井医師　日東医長野大会
NO.16
２００４年　「アメリカにおける臨床の実際」　中澤　弘　日東医京都大会
NO.17
２００４年　「スポーツ選手の膝関節障害の鍼灸マッサージ治療と予防」　宮本　俊和　日東医京都大会
NO.18
２００４年　「医療としてのマニュアルリンパドレナージと圧迫療法　荒井　つねのり　日東医京都大会
NO.19
２００４年　「予防医療としての鍼灸マッサージの今日的意義」　山尾　隆

NO.20
　２００４年　サルトジェネシスと鍼灸マッサージ　永田　勝太郎　日東医京都大会
NO.21
　２００４年　鍼灸マッサージと免疫系　今西　二郎　日東医京都大会
NO.22
　２００５年　「健康創成論」　永田　勝太郎　日東医静岡大会
NO.23
　２００５年　「人工透析からの開放を目指して一鍼灸マッサージを中心に」　川島　明
　日東医静岡大会
NO.24
　２００５年　「統合医療の中での鍼灸マッサージの役割」　今西　二郎　日東医静岡大会
NO.25
　２００５年　「脳は若返る」　高田明和　日東医静岡大会
NO.26
　２００５年　「脳疾患に対する予防」　坂本　歩　日東医静岡大会
NO.27
　２００６年　「パーキンソン病の外科医療について」　和歌山医科大学　板倉　徹
　日東医和歌山大会
NO.28
　２００６年　「灸療法のすすめ」　愛媛県立中央病院東洋医学研究所　光藤　英彦
　日東医和歌山大会
NO.29
　２００６年　「難病に対する東洋医療のアプローチ」　洛和会医師　中村　重信
　日東医和歌山大会
NO.30
　２０１３年７月７日　「放射能の恐怖」　松江　寛人　東鍼連福島大会
NO.31（１９枚組）
　東洋鍼医学会編集　「病症論」　井上恵理講演１～１９
NO.32（５枚組）
　東洋鍼医学会編集　「霊枢解説」　岡部素道講演１～５
NO.33（１６枚組）
　東洋鍼医学会　「難経講義」　井上　恵理講演

編集後記

広報部長　松下　優子

今年の冬は駆け足で過ぎて行きました。しかし温暖化のせいでしょうか、何度となく大雪にみまわれました。隣県では雪による多重交通事故も発生しました。また、皆さんも触れておりますが、年々災害も増え、犠牲者も出ています。そのような自然環境ですが、岩手県の経済状況はあまり悲観的ではないというデータが出ています。しかし、私たちの業界はいかがでしょうか？右肩上がりという方もいるでしょうが、私などは中々景気回復の恩恵に与かることができません。

今年こそ少しでも景気回復を実感したいものです。

私事ですが、この度介護支援専門員の実務研修を受けて参りました。年齢的にも年長者になるようでした。しかも、弱視ですから、何から何まで、お世話になりました。それにしても、さすがケアマネジャーだけに、支援体制は整っており、「できることは自分で行い、出来ないことを支援します」の精神が浸透していました。その講義の中で、二次予防のためには訪問リハビリ、訪問マッサージが益々重要になるのではないでしょうか？というお話があり、何らかの形で参入できれば私達の業界にとっても好機になると思いました。

最後に、会長始め会報の発行にご協力下さった方々に感謝申し上げます。

今年１年も、鍼灸マッサージ師会が飛躍できるように皆でがんばりましょう。

奥付

一般社団法人　岩手県鍼灸マッサージ師会
平成２６年度　会報第４７号
平成２７年３月３１日発行
発行人　会長　佐々木　実
〒028－7401　八幡平市西根寺田第 13 地割 108 番地
電話　0195－77－2057
編集責任　広報部長　松下　優子
〒020－0667　滝沢市鵜飼向新田 7 番地－227
電話　019－687－2405
事務所（事務局）会長　佐々木　実
〒028－7401　八幡平市西根寺田第 13 地割 108 番地
電話　0195－77－2057
ホームページ　http://zensin.or./~iwate/
郵便振替　岩手県鍼灸マッサージ師会　02360－9－19833

印刷所　有限会社　浜印刷
〒020－0667　滝沢市鵜飼洞畑 56－29
電話　019－654－3569